



新潟ふれ愛プラザ 〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽1-9-1 (JR亀田駅東口より5分)



謹んで新春のお慶びを 申し上げます

社会福祉法人 新潟県身体障害者団体連合会
理事長 立川 厚太郎
(新潟県障害者スポーツ協会会長)

皆様には、健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。

旧年中は、「社会福祉法人新潟県身体障害者団体連合会」と「新潟県障害者スポーツ協会」が運営する「新潟県障害者交流センター」及び「新潟県聴覚障害者情報センター」のご利用につきまして、また「新潟県障害者社会参加推進センター」事業をはじめとする各種事業の実施に際しまして、さらには市町村等を単位として各地域の実情やニーズに応じて実施する各種の福祉推進活動に対し、暖かいご理解と多大なるご協力を賜りましたことに改めて厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返って最も印象深いことは、「2020年東京パラリンピック」への本県選手の出場に向けて実質的なスタートを切ることができたことです。国や県等から新たにご支援を頂戴できたことにより、これま

で継続してきた普及・啓発活動等に加えて、県内のトップ選手に対する積極的な強化策に取り組むことができるようになりました。

そして、その成果が早速実を結んでいます。昨年末の「毎日新聞社スポーツ人賞」では、ワールドカップで大活躍し日本中を夢中にさせたラグビー日本代表チームや、世界選手権大会6連覇の偉業を達成した体操競技の内村航平選手等のトップアスリートが選考されましたが、本県からも村上市の三須穂乃香選手(陸上100メートル日本記録保持者)が新人賞を受賞しました。また、新発田市の美遠さゆり選手(卓球)は、日本代表として国際大会に出場し3位入賞を果たしております。

新たに迎える平成28年におきましても、役職員一同がそれぞれの職務に精励し、障害のある方々の相互交流の輪を拡げると共に、スポーツ活動を含め様々な場面での社会参加を推進し、更には障害のある人もない人も共に支えあって暮らす共生社会の実現をめざしてまいりますので、引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。



紀の国わかやま大会で健闘を誓う
松澤ひかる選手(左:市陸上)と伊藤優弥選手(右:県FD)



第14回新潟県障害者芸術文化祭
ふくらむアートふあっとにいがたフェスティバル



障害者交流センターふれ愛だより	p2
聴覚障害者情報センターだより	p3
社会参加推進センターだより	p4~5
県身連だより(公益自主事業)	p6~7

発行
 (福)新潟県身体障害者団体連合会
 理事長 立川 厚太郎

電話 025-381-1474
 FAX 025-381-1478
 E-mail: kenshinren@n-fureaiplaza.com
 http://kenshinren.n-fureaiplaza.com

印刷 ㈱新潟印刷

新潟県障害者交流センター ふれ愛だより

TEL 025-381-8110 FAX 025-381-1478 URL <http://kouryu.n-fureaiplaza.com/> MAIL kouryu@n-fureaiplaza.com

親子で交流 ～親子交流運動会開催報告～

9月27日(日)、新潟県レクリエーション協会との共催により「親子交流運動会」を実施し、約70名が参加しました。

はじめに行った「サーキット運動」では、遊びの要素を取り入れた様々な運動種目をそれぞれのペースで行いました。保護者も同じように参加し、親子で汗を流しました。

「集団遊び」では、赤・白・青・黄のカードを使ってひっくり返しあうオセロゲームや、1つの絵が2つに分かれているカードを使っての絵合わせゲームなどを行いました。なかでも特に盛り上がったのは4チームに分かれて4方向へ引き合う綱引きで、引っ張ったり、引っ張られたり、子供たちはもちろん、一緒に参加した保護者も夢中になって取り組みました。

「楽しかった」「またやりたい」などの声が聞かれ、笑顔があふれるイベントとなりました。(内山)



うまくとびこえられるかな？

新潟県チーム激走！～パラ駅伝inTOKYO

11月29日(日)に、2020年東京パラリンピックに向けて障害者スポーツへの関心を高めてもらおうと日本財団パラリンピックサポートセンター主催の「パラ駅伝 in TOKYO 2015」が駒沢オリンピック公園陸上競技場にて開催されました。走者は8名、第1区 視覚障がい者、第2区 健常者(男)、第3区 車椅子走者(女)、第4区 健常者(女)、第5区 肢体不自由者(立位)、第6区 知的障がい者、第7区 聴覚障がい者、第8区 車椅子走者(男)がそれぞれ2.5kmを走り、たすきを繋ぎました。新潟県や東京都など全部で11都県19チーム、152人が参加しました。前日には参加者の交流会があり、他都県の人々とも交流を深めました。

当日には1万4000人の観客が来場され、SMAPや宝塚歌劇団も応援に駆け付けました。会場では簡単な手話を紹介したり、車椅子バスケットやブラインドサッカーなどの障害者スポーツも紹介され、多くの人々が障害に対する理解を深めました。新潟県代表チームは18位でしたが、選手からは「ぜひ来年も参加したい」「お祭りのようで楽しかった」と前向きな返事がありました。選手の皆さんお疲れ様でした。(計良)



大観衆のスタジアムで襷を繋ぐ新潟県チーム

プラザふれあい交流会 (囲碁・将棋大会) が開催されました

9月17日(木)に第5回プラザふれあい交流会(囲碁・将棋大会)が、新潟市身体障害者福祉協会連合会、新潟県障害者交流センターとの共催により新潟ふれ愛プラザで開催されました。囲碁24名、将棋13名の方々が参加し、熱戦が繰り広げられました。結果は以下の通りです。

【囲碁の部】

Aグループ	優勝	西山真樹雄(五泉市)	準優勝	畑 直彦(五泉市)
Bグループ	優勝	鶴間修二(雪椿友の会)	準優勝	横山寛治(ふれ愛プラザ)
Cグループ	優勝	佐藤重夫(ふれ愛プラザ)	準優勝	今井弘道(五泉市)
Dグループ	優勝	渡部正三(ふれ愛プラザ)	準優勝	保坂光之(ふれ愛プラザ)

【将棋の部】

Aグループ	優勝	佐藤清治(新潟市北区)	準優勝	大野秀和(新潟市秋葉区)
Bグループ	優勝	二瓶一夫(ふれ愛プラザ)	準優勝	福永泰大(ふれ愛プラザ)
Cグループ	優勝	渡辺清二(新潟市西区)	準優勝	小旗満明(新潟市西区)(敬称略)



熱気あふれる対局場

クリーン作戦を実施しました

毎年夏と秋にプラザ周辺の草取りや落ち葉清掃を行う「クリーン作戦」を11/1(日)に実施しました。日頃ご利用をいただいているWSN(障がい者水泳クラブ)のみなさんを中心にお手伝いをいただきました。誠にありがとうございました。(岡野)



体育館及びプール臨時休業のお知らせ

施設修繕のため、以下の期間体育館及びプールを休業いたします。

体育館…平成28年1月30日(土)～2月11日(木)まで
プール…平成28年1月30日(土)～2月21日(日)まで

その他の施設は通常通り開館いたします。上記の期間皆様にはご迷惑をおかけしますが、何卒ご了承くださいますよう宜しくお願いします。(終了期日は予定です)

新潟県聴覚障害者情報センター 情報センターだより

TEL 025-381-8112 FAX 025-381-8116 URL <http://jyoho.n-fureaiplaza.com/> MAIL jyoho@n-fureaiplaza.com

きこえの相談

1月6日(水)

2月3日(水)

3月2日(水)

新潟県聴覚障害者情報センター
相談室



巡回映像 ライブラリー

新潟聾学校 1月13日(水)
2月23日(火)

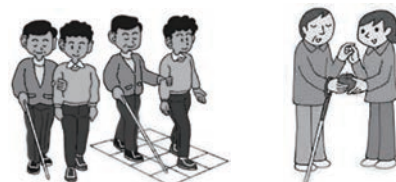
長岡聾学校 1月14日(木)
2月24日(水)



盲ろう者 生活訓練事業

I 平成28年1月30日(土)
「生活習慣病って何?」

II 平成28年2月11日(木祝)
「お手軽体操」の紹介と
お茶会



2015情報アクセシビリティフォーラムに参加しました

12月12日(土) 13日(日) 東京・秋葉原UDXで開催されました。

「みんなで感じ、みんなで考えよう情報アクセシビリティ」

学ぶフロアと感じるフロアに分かれた会場は大勢の人でにぎわっていました。

初日10時「情報アクセシビリティへの挑戦」聴覚障害者に必要な情報アクセシビリティに挑戦している企業や団体の取組みを学び、課題と展望について。先日センターで開催された「CMにも字幕を」の講師：松森果林さんの講義と、交通エコロジー・モビリティ財団：澤田大輔さんの講義を拝聴。「健聴者の普通が普通じゃない」この言葉が深く頭から離れません。

また別会場では情報提供機器の展示。また手話言語条例制定された県のブースには大勢の人が集まっていました。2日間では全部は回りきれなく残念でしたが、また開催されることを期待します。(坂井)



にいがた

社会参加推進センターだより

TEL・FAX 025-383-3654

URL <http://suishin.n-fureaiplaza.com/>

MAIL suishin@n-fureaiplaza.com

♪ 新潟県障害者芸術文化祭が開催されました♪



美術展

11月8日（日）から15日（日）、新潟ふれ愛プラザにおいて『第14回新潟県障害者芸術文化祭』が開催されました。

美術展では312点の美術作品が所狭しと展示され、会場はバラエティーに富んだ作品の数々で埋め尽くされました。

また、文芸作品部門も197点と多くの作品が集まり、心温まる文芸作品集が出来上がりました。

最終日のステージ発表では、過去最多の18組の出演者による歌や踊り等が披露され、出演者も来場者も笑顔あふれるステージとなりました。



ステージ発表



今年度は527点の作品・発表のお申込みをいただきました。また、1,500名を超える多くの方々からご来場いただき、盛況のうちに無事終了いたしました。皆様ありがとうございました。



新潟県のホームページから受賞作品をご覧ください

第14回新潟県障害者芸術文化祭

[検索](#)

第14回新潟県障害者芸術文化祭受賞者一覧

【県知事賞】（9名）

部門	受賞者	題名
絵画	池田 裕介	大地の母子
書道	田中 和貴子	桃李春
写真	五十嵐 勝一	レーシングカー宙を走る
工芸	松浜病院 デイケアセンター あっと歩夢 創作グループ	ゲートすてっき
短歌	上林 洋子	
俳句	小林 恒雄	
川柳	梨本 勝夫	
自由詩	本間 テル	朝顔の妖精
音楽発表	石月 誠人	

【実行委員長賞】（3名）

部門	受賞者	題名
絵画	和栗 やすこ	楽しい花火
書道	新潟県障害者リハビリ テーションセンター	みんなちがってみんないい
工芸	みねがし 峯岸 イチ	花のじゅうたんに乗って 空を飛べたらいいな

【審査員特別賞】（12名）

部門	受賞者	題名
絵画	佐藤 茂雄	愛おしい孫
	片岡 政直	浄瑠璃寺本堂
書道	三輪 彰信	まんげつ
	高松 暁	無題
写真	佐藤 真由子	幸せの花道
工芸	よろクリ DC	ひとつになって
	あじな姫	雅Ⅱ
短歌	石塚 幹大	
俳句	佐野 和太留	
川柳	金井 和子	
自由詩	おとめ座 boy	僕の部屋
音楽発表	関根 正英	



授産施設紹介

障害者芸術文化祭の受賞者には、毎年、県内の授産施設で作られている授産製品を記念品として贈呈しています。今年度は、社会福祉法人フレンドランド福祉会 指定生活介護 ふれんど・ぴあの「陶芸ぴあ（お皿）」が贈られました。

今回は、記念品を作っていただいた「ふれんど・ぴあ」をご紹介します。

社会福祉法人フレンドランド福祉会 指定生活介護「ふれんど・ぴあ」

ふれんど・ぴあは新潟市東区にある障がいを持つ方々が通う通所施設です。

新潟市東区を中心に新発田市、阿賀野市、南区などから平均年齢27歳、約35名の利用者様にご利用いただいております。ふれんど・ぴあでは、日中活動の充実を目的とし月に一度の外出行事、レクリエーション活動、陶芸製作に取り組んでおります。また、交流事業として外部ボランティア様をお招きしたりミュージックケアで近隣の介護施設や保育園へ訪問し様々な方々との積極的な交流を行っております。

陶芸作品においては重度の身体障がいを持つ利用者様が、職員と共に粘土叩きや型押し、絵付け、釉薬かけ、仕上げ磨きなどの工程の中で自身の機能を最大限に生かしながら製作に取り組んでおります。出来上がった作品は新潟市内の新潟ユニゾンプラザ内にあります『福祉のお店 パレット』様で販売も致しておりますのでぜひ多くの方にお手に取って頂けたら幸いです。陶芸に興味のある方は一緒に陶芸活動をご体験頂けたらと思っていますのでお気軽にお問合せ下さい。



（お問合わせ）

新潟市東区寺山3丁目32-21

電話 025(271)5377

陶芸担当：磯部

「サピエ」会員登録のご案内

視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」は、視覚障害者のほかに、目で読むことが困難な方々にも、点字や音声データの提供を行っています。

目で読むことが困難な方とは、次の例のような障害のある方も対象となっています。

（例）

- ・聴覚障害
- ・肢体障害
- ・精神障害
- ・知的障害
- ・内部障害
- ・発達障害
- ・学習障害
- ・いわゆる寝たきりの状態
- ・一過性の障害
- ・入院患者

「手で本のページをめくるのが難しい」「難しい漢字で書かれていなければ読む事ができるのに」「文字では理解できないが音声ならできる」など、本を読むときに困難さを感じたことはありませんか。これらの困難さは、

音声データを活字の図書と同様に編集したデイジー図書を手に入れることで解決することができます。

サピエからダウンロードした音声データ（デイジー図書）は、専用ソフトのほか、一般的なメディアプレイヤーなどのウィンドウズソフトやiPad（アイパッド）の再生アプリでも再生することができます。

サピエに登録されている音声のデイジー図書データは約6万8千件（平成二十七年十一月末現在）とたいへん豊富で、日々増え続けています。

サピエの会員登録のこと、デイジー図書のことなど、詳しくは左記までお問い合わせください。サピエの会員登録及び利用は無料です。

○視覚障害者情報総合ネットワーク
「サピエ」トップページ

<https://www.sapie.or.jp/>

【問合わせ・会員登録】

新潟県点字図書館（新潟ふれ愛プラザ2階）

電話025（381）8111

県身連だより (公益自主事業)

TEL 025-381-1474 FAX 025-381-1478 URL <http://kenshinren.n-fureaiplaza.com/> MAIL kenshinren@n-fureaiplaza.com

♪ ミュージックふれあい交流会が開催されました♪

去る9月6日(日)新潟ふれ愛プラザにおいて、第25回ミュージックふれあい交流会が開催されました。

各地区から推薦された25組の出場者が優勝を目指し、歌や演奏など日頃の練習の成果を披露しました。会場には約250名の方々が集まり、手拍子や応援などで一緒に参加しながら笑顔あふれる交流会となりました。

今年度はサプライズで、昼食休憩時間を「飛び入り参加のカラオケ大会」としたところ、大好評で、会場のカラオケ好きな皆さんが思い思いに熱唱し、会場は大いに盛り上がりを見せていました。



第2部アトラクションでは、地元、新潟市江南区在住の木村宏子さんによる歌謡ショーで「父娘坂」など計4曲を披露していただきました。木村さんの心に染み渡る歌声に、皆さんうっとり聞き入っておられる様子でした。

受賞者 (敬称略)

優勝	澤田 健次 (上越市安塚区) ♪晴れ姿
準優勝	與川 勝 (上越市) ♪津軽慕情
第三位	吉田 澄子 (刈羽村) ♪日本の男
特別賞	藤田 芳雄 (長岡市) ♪酔歌 (ソーラン節入り)
特別賞	小関 カツ (上越市柿崎区) ♪祝いしぐれ
特別賞	佐藤 晃 (上越市) ♪かあさんへ

新潟県身体障害者福祉大会開催される

去る10月25日(日)新潟ふれ愛プラザにおいて、第48回新潟県身体障害者福祉大会が開催されました。県内各地から約220名の参加者が集い、盛会裏のうちに無事に終了しました。

式典では、障害者福祉の功労者5名、自立更生者1名、結婚30年以上夫婦共障害者2組4名、結婚30年以上夫又は妻が障害者3名の方々に、県身連代議員会会長から表彰状が授与されました。

組織の健全な発展を図り、障害の有無に関わらず安心して暮らせる社会をめざし、関係団体並びに会員との強い連携のもと積極的に関わっていくことを誓った大会宣言は、参加者の拍手をもって賛同を得て採択されました。

講演では、一般社団法人新潟市薬剤師会理事の金井寛幸氏から「お薬の正しい知識」と題して、薬の正しい使い方、飲み方などについて分かりやすくご講演いただきました。

服薬という日常生活に深く関わりのある内容だけに、講演後の質疑応答では、参加者から多くの質問があり、とても有意義な講演会となりました。



○会長表彰受賞者一覧 (敬称略)

受賞おめでとうございます

厚生労働大臣表彰

(社会福祉事業功労)

いそがい しげお
磯貝 重雄 さん

(糸魚川市身体障害者会 会長)

平成27年11月20日(金)「平成27年度全国社会福祉大会」において表彰されました。

功労者

つばき しげいちろう (佐渡市)
椿 淳 一郎

きくち てるお (佐渡市)
菊 地 照 夫

いしかわ たつお (長岡市)
石 川 龍 雄

しみず ひろゆき (長岡市)
清 水 博 幸

はら せんのすけ (長岡市中之島支部)
原 銃 之 助

自立更生者

こんどう てつお (長岡市)
近 藤 哲 雄

結婚30年以上の者

夫婦共障害者

あいき かずひこ ひさこ (阿賀野市)
藍木 一彦・久子

よこやま しやうじ ゆうこ (長岡市)
横山 昇司・優子

結婚30年以上の者

夫又は妻が障害者

やすだ イミ子 (三条市)
安 田

こす けいこ (上越市)
小 菅 慶 子

ながい みえこ (上越市柿崎区)
長 井 美栄子

投稿

障害者福祉のために

三条市身体障害者福祉協会
荒木 義一

私は昭和29年に三条身障協会に入会しました。その当時、三条身障協会会員は戦後10年にもならないため傷痍軍人の方も大勢おいででした。

初代会長の近藤源三さんは県身連の初代会長でもあります。自宅に訪れると、ベッドに腰かけ、膝から下の無い体の左右に義足を置いて話をされていました。両足切断の重度障害にもかかわらず、自転車に乗り会務を処理しておられました。会員のために物品購入などさまざまなアイデアを思いつき、その一部は実施されました。

三条身障協会が出来て1年後の昭和24年に「身体障害者福祉法」ができましたが、制定されても補装具の処方や障害者更正援護施設の利用が主な制度でした。昭和27年によく国鉄運賃割引の制度ができましたが、乗車券購入時に市役所窓口で利用区間などを申告して割引証を発行してもらうという不便なものでした。バス運賃割引も同様です。その後毎年のように身体障害者に対する制度が充実し、現在の「身体障害者福祉法」と関連制度が恵まれた環境を作っています。

このような制度が、何も行動しないで自然に出来るはずはありません。制度をより良いものにするために、当三条身障協会のような下部組織から出た要望を、新潟県の組織である県身連をとおして更に上部の日身連にあげ、これを国会にはたらきかけなければ制度化されることはなかったでしょう。

私が身障者になったのは、病気をなおして早く社会復

帰したために手術をした結果です。あと1年待てば、おそらく薬物療法で治癒していたと思います。前会長本田佐敏さんが会長に就任された20数年前に「だれもが障害者になりたくて、手帳が欲しくて障害者になった人はおりません」と話したことがあります。現在の制度は、心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこうや腸など内部機能障害も「身体障害者」の対象になっていますが、これらも障害者団体のはたらきで制度化されたものでしょう。新しく「障害者手帳」を取得した方に入会を勧めると、ほとんどの方から「入会して、どんな恩恵があるのか」という質問が返ってきます。実は、すでに手帳を取得した時点で税金など多くの恩恵を受けていることを知らないのです。

1、2級の重度障害者には障害者年金もあり、入会を勧めると「身障協会の催しに出席できないから入会しない」という方もあります。しかし、このような方から特に入会していただきたいと思っております。年金の一部を会費に充て入会していただくことにより組織の力が増し、制度も充実し、会の運営にも活気が出てきます。

会員の皆様には、会員でない身近においでの日身障者に声かけを心がけていただき、入会をお勧めくださるようお願いいたします。



日身連の要望事項 ～ジパング倶楽部特別会員について～

J R東日本が行っている「ジパング倶楽部」では、身体障害者を対象とした特別会員制度が設けられています。身体障害者手帳を所持する方で、男性満60歳以上、女性満55歳以上の方が入会できます。

会員の特典として、J R線を「片道、往復、連続」で201km以上ご利用される場合、特急券、グリーン車、座席指定券などを2～3割引で買うことができます。

しかし、新幹線「のぞみ」「みずほ」など一部割引とされない切符があり、日身連（社会福祉法人日本身体障害者団体連合会）の各ブロックから要望を受け、日身連は「平成27年度日身連要望事項」として、平成27年5月に国へ提出し、関係省庁から文書で回答を得ました。

以下は、その抜粋です。

【要望】

障害者のJ Rジパング倶楽部での新幹線利用については、J Rのダイヤ改正による「ひかり」の本数激減や、山陽新幹線および東海道新幹線の東京福岡間の「ひかり」・「こだま」の直通がないことから乗り換えに支障

をきたす障害者が多い。利便性・公平性の観点からも、「のぞみ」や「みずほ」を割引の対象車両としていただけよう、鉄道事業者へ理解を求め働きかけているが、未だ解決にいたっていない。利便性・公平性の観点からも、ジパング倶楽部の割引をすべての新幹線を対象とするよう、鉄道事業者へ強く指導していただきたい。

【回答】（国土交通省）

- J Rが提供する「ジパング倶楽部」については、鉄道事業者の営業施策により需要喚起等を目的とする企画商品です。
- 新幹線のご利用をはじめとした企画商品の設定・変更については、鉄道事業者の自主的な判断に基づき実施されており、基本的に経営上の判断にかかる問題であります。
- 国土交通省としては、ご要望の趣旨について、従前より鉄道事業者に伝えているところですが、利用者利便の向上を図るべく事業者において検討をしていただくよう、再度鉄道事業者に伝えることといたします。

新潟県障害者スポーツ協会だより

TEL 025-383-3610 FAX 025-381-1478 URL <http://sports.n-fureaiplaza.com/> MAIL sports@n-fureaiplaza.com

第15回全国障害者スポーツ大会 紀の国わかやま大会報告

平成27年10月24～26日の3日間、障害者スポーツの祭典である標記大会が和歌山県で開催されました。朝早くから夜遅くまで、選手団一丸となって頑張ってきました。みなさん応援ありがとうございました！

【新潟県選手団】金15個 銀7個 銅5個 【新潟市選手団】金9個 銀8個 銅3個
バレーボール（知的女子）一回戦敗退

新潟県選手団では福永 泰大さん（水泳・50mバタフライ）、新潟市選手団では、中村友子さん（陸上競技・ソフトボール投げ）大会記録を更新されました！おめでとうございます!!



第25回日本障害者スポーツ学会in新潟

本県では初の開催となる標記学会が、平成28年3月26日（土）、27日（日）の両日、新潟ふれ愛プラザで開催されます。27日の特別講演では、元アルペンスキースキーのオリンピックでプロスキーヤーの皆川賢太郎氏、長野パラリンピックに出場した本県パラリンピアン音田勉氏、新潟医療福祉大学・教授の大森豪氏をお招きし、「オリンピック・パラリンピックへの道」をテーマに鼎談していただきます。進行は本学会の大会長で、公認障害者スポーツクターの荻荘則幸氏が努めます。

詳しくは、【第25回日本障害者スポーツ学会in新潟】で検索してください。たくさんのご参加お待ちしております。

第25回日本障害者スポーツ学会in新潟【URL】<http://25thjsspdniigata.wix.com/25thjsspd>



障がい者スポーツ体験会in新潟

平成27年11月23日（月・祝）に、NPO法人STANDと共催で「みんなのスポーツ障がい者スポーツ体験会in新潟 シッティングバレーボール体験会」を開催いたしました。

講師に、金田 典子 氏（北京、ロンドンパラリンピック日本代表）と竹田 賢仁 氏（シドニー、アテネ、ロンドンパラリンピック日本代表）をお招きし、講演会と競技の体験会を行いました。

体験会には、近隣の障害者施設の方々や地域の小学生とそのご家族が約100名参加され、シッティングバレーボールならではの動き方やパス練習などの基本練習から、最後にはゲーム形式まで体験し、終始笑顔や笑い声の絶えない体験会となりました。



発行：新潟県障害者スポーツ協会
〒950-0121
新潟市江南区亀田向陽1-9-1
（新潟ふれ愛プラザ内）